

## アウトリーチプログラム実施内容報告書

報告者	國分 洋		
競技種目	スケート(フィギュアスケート)		
競技会名	第48回西日本フィギュアスケート選手権大会 第39回西日本フィギュアスケートジュニア選手権大会		
活動日時	2022年10月29日(土)～30日(日)	活動場所	京都アクアアリーナ
ブース 活動者	氏名	所属/役職	
	田中 刑事	シンボルアスリート	
	金田 真理子	日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会員	
	國分 洋	日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会員	

## アウトリーチプログラム参加人数

	アスリート	サポートスタッフ (指導者・NF・チームスタッフ)	その他 (観客・ボランティア等)	その他	日別合計	JADAのクイズテンプレートを使用した場合、ジュニア版・一般版の合算数を記載ください。
1日目	( 38 ) 人	( 8 ) 人	( 9 ) 人	( ) 人	( 55 ) 人	
2日目	( 15 ) 人	( 2 ) 人	( 1 ) 人	( ) 人	( 18 ) 人	
3日目	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( 0 ) 人	
				総計:	( 73 ) 人	

## 概要報告

<p>&lt;実施内容&gt; 活動内容、タイムスケジュール、配布物 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布物: JADA発行クリーンアスリートガイド、日本スポーツ協会発行アンチ・ドーピング使用可能薬リスト</li> <li>・選手・コーチ・保護者へ、毎年アンチ・ドーピングのルールが変更になるため、最新の資料を所持するよう説明して資料を配布した。</li> </ul>
<p>&lt;会場の雰囲気、ブース設置場所の適正&gt;</p> <p>・競技・練習前後に必ず通る通路脇にブースを構えた。 →選手と立ちながら歩きながらの説明となり、またコロナ禍という状況もあり、ゆっくり座りながら説明はできなかった。</p>
<p>&lt;良かった点・課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手へ声掛けすると、「是非今年の資料ください」と前向きな選手が多かった。</li> <li>・シンボルアスリートがいると選手やコーチへの声掛けがスムーズになり、会話の中で選手自身の考えなどを自然と聞き出すことができたため、シンボルアスリートがいてもらえる意義は大きいと考える。</li> <li>・ジュニア世代が多く、保護者もアンチ・ドーピングに対して興味を持ってもらえた。</li> <li>・ゆっくり時間をとって選手とあまり話ができなかったのが、感染対策や声かけのタイミングなどを考えながら実施方法を検討していく。</li> </ul>
<p>&lt;現場で受けた質問・回答&gt;</p> <p>・質問: (コーチより)氷上での時間が長く、眼が乾燥しやすいため使用可能薬リストに記載されている目薬ならば使用していいか。 →回答: 使用可能薬リストに記載されている薬ならば使用して問題ないが、毎年更新されるため必ず最新のものを見ていただくよう説明。</p>
<p>&lt;その他&gt;</p>

